

平成23年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	トロンによる多漢字利用システムの構築
研究代表者名 (所属・職)	坂村 健（東京大学・大学院情報学環・教授）

評価意見

本研究の目的は、東洋文化研究を発展させるためのデジタルプラットフォームを確立することであり、人文学的研究と工学的研究という2つの側面を有している。工学的側面については、本研究から派生した uID（ユビキタス ID）アーキテクチャの開発や国際標準規格として認められるなど発展が見られる。

一方、人文学的研究に関しては、これらのシステムを利用した研究業績が見えていなく、研究期間終了の翌年度に実施された事後評価結果の「今後、できあがったプラットフォームを積極的に活用した人文学的な研究成果が蓄積されることを期待したい」に対して、十分答えられてはいないので、今後、人文学的研究において本システムを活用することによって得られる研究成果に期待したい。